



＊ 研究会報告 ＊

漢陽大学校東アジア文化研究所主催国際学術会議

「グローバル時代と東アジアの文化表象 I」の報告

内田 青蔵 (非文字資料研究センター 研究員)

はじめに

2013年2月1日から2日までの2日間、韓国ソウル市の漢陽大学校東アジア文化研究所主催による「グローバル時代と東アジアの文化表象 I」をテーマとした国際学術会議が開かれた。開催の2日間は、あいにくの雨模様であったが、パネラーの発表は注目すべきものが多く、熱い議論が展開された。本学の非文字資料研究センター(以下、本学センターと記す)と漢陽大学校東アジア文化研究所とは学術交流の提携を結んでおり、そのため筆者と金容範氏の2名が本学センターを代表して参加し、発表を行った。本稿は、この国際学術会議の概要報告である。

さて、この国際学術会議の発表者とそのテーマは、以下の通りであった。

①金容範 (神奈川大学 非文字資料研究センター)

韓国近・現代の住居文化の表象としての文化住宅
—‘生活の近代化’から‘農村の近代化’に至るまで—
討論：冨井正憲 (漢陽大学校 建築学部)

②内田青蔵 (神奈川大学 建築学科/非文字資料研究センター)

“洋風”から“和洋併存”あるいは“和洋混交”へ
—明治初期の和洋館並列型住宅様式の成立過程にみる
国家的住宅様式の誕生に関する一考察—
討論：韓東洙 (漢陽大学校 建築学部)

③李京僖 (漢陽大学校 東アジア文化研究所)

揺れ動く<日本的>な富士山
討論：李漢正 (祥明大学校 日本語文学科)

④丁秀珍 (東国大学校 教養教育院)

無形文化財から無形文化遺産へ—グローバル時代の文化表象
討論：ナムクンウ (東国大学校 教養教育院)

⑤朴美貞 (国際日本文化研究センター)

絵葉書というテキストと植民地朝鮮
討論：河世鳳 (韓国海洋大学校 東アジア学科)

⑥睦秀炫 (ソウル大学校 奎章閣韓国学研究院)

韓半島地形の視覚的表象—主体の眼と他者の眼
討論：權幸佳 (韓国芸術綜合学校)

⑦菅浩二 (國學院大學 研究開発推進センター)

日韓同祖論と神社
討論：朴奎泰 (漢陽大学校 日本語・文化学部)

⑧裴寛紋 (韓国外国語大学校 日語日文学科)

<神国日本>のイメージ変遷
討論：南相旭 (成均館大学校 比較文化研究所)

すなわち、発表者は8名で、その内訳は、日本在住の研究者が4名、韓国在住の研究者が4名であった。会議は、発表者が発表を終えた後に、それぞれの討論者が具体的な質問を投げかけ、議論を開始し、会場からも質問を受けるといった形式で行われた。また、会場では、同時通訳も行われた。なお、当日は、各発表の内容の原稿をまとめた配布物も用意されたが、論文はそれぞれの言語によるものであった。

非文字研究関連の発表について

本学非文字資料研究センターからは筆者と金氏の2名が参加し、初日に発表を行った。金氏は、主題は「韓国近・現代の住居文化の表象としての文化住宅」、副題は「‘生活の近代化’から‘農村の近代化’に至るまで」とし、発表を行った。金氏は、現在、本学センターの研究員として所属しているが、会場校である漢陽大学校建築学部の卒業生で、韓国の近代住宅史研究で学位を取得されている若手研究者である。さて、その報告内容は、韓国の近現代住居文化を考えるうえで注目される3つの時代の建築を取り上げ、その時代と建築のあり様が当時の政策